

杉並区立松溪中学校 令和4年度学校運営協議会 第1回議事録

- 1 開催日時 令和4年5月23日（月）16：00～17：20
- 2 開催場所 杉並区立松溪中学校 多目的室
- 3 出席委員 檜枝光太郎、恵羅 博、石井 良典、望月航二郎、渡邊 麗、村木 由紀
目黒 由美、佐藤 伸彦、飯島 裕子、辻 成一郎校長
- 4 出席（学校）小川 隆一副校長
- 5 傍聴者 1名
- 6 会議内容（次第）

【1】会長より

教育ビジョン2022を自分事としてどのように解釈し、松溪中の教育に役立てていくかが中長期的な課題と考えています。

【2】学校長より

①冒頭、辻校長が再任用校長となったご挨拶がありました。また、山岸委員の退任に伴い、新たに現PTA会長の菅野さんが委員となることが紹介され、区教育長から正式に任命されるまでオブザーバーとして参加されることになりました。

②令和4年度学校経営計画、年間計画の説明（別紙資料有）

「杉並教育ビジョン2022」の精神と学校教育目標を具現化するための教育活動を、地域・保護者・生徒・教職員が一体となって取り組んでいきます。

【3】協議事項

（1）R4年度学校経営計画及び年間計画について

- ①教育相談コーディネーターを中心とした校内委員会によりいじめや不登校等の子どもを支援するのは良いと思います。いじめや不登校の原因をつくる子ども達への支援も必要だと思います。
- ②成績は点数のみでなく、過程を評価するための「振り返りシート」を活用することは良いと思います。一方で、働き方改革としての採点ソフト導入は成績のつけかたに逆行しないか心配です。
- ③教員が不足しているニュースが出ており、先生方は大変だろうと心配しています。
- ④計画には、生徒の個の教育に関する方針がいろいろと出されているが、集団としての方針も出した方が良いと思います。
- ⑤「自学ノート」「家庭学習の手引き」の活用により、学力の向上はどれだけ実現できているのかを知りたいです。
- ⑥「自学ノート」「家庭学習の手引き」の活用は、自分で学習に取り組むことをねらいとしています。ノートに書くことが苦手な生徒もいるので、今年度からタブレットを活用することもできるようにしました。
- ③特別支援教育で示された「9年間を通じて切れ目のない支援活動を推進する」ため、小学校との連携を進めてほしいと思います。

（2）R4年度学校運営協議会の実施予定について

- ①教職員や生徒との意見交換会は、テーマや話し合いの方法を決めた方が良いのではないかと思います。
- ②管理職以外の教員の生の声を聞くことため、グループに分かれ、ざっくばらんに懇談したいと考えています。

【4】学校の様子

①4月7日～5月12日の報告及び6月29日までの予定説明(別紙資料有)

②6月4日(土)の運動会は今年度も無観客、動画配信の予定です。暑さ対策のテントを張ると、参観できる場所が限られ密になるためです。

7 次回予定

令和4年6月20日(月) 16:00～ 松溪中学校多目的室にて